

子ども読書活動推進体制のイメージ

年齢	0歳	1・2歳	3・4歳	5・6歳	7～9歳	10～12歳	13～15歳	16～18歳
子どもの成長と読書活動	乳児期		幼児期		低学年	高学年	中学生	高校生
	心身の成長の基礎となる時期。絵本と出会う時期。		絵本の内容が分かるようになり、絵本の世界を楽しむことができる時期。		自分で本が読めるようになっていくための第一歩の時期。	読み応えのある物語や古典的名作を読み、参考図書を使って調べる時期。個人の好みが見られるため、本を読む子、読まない子に分かれる。	本を読むことと図書館利用の日常化により、生涯読書が始められる時期。メディアリテラシーの習得。本を通じた自己解決能力の向上。	
	親子で一緒に絵本に親しむことで、ことばの習得、親子の絆を深める。		お気に入りの絵本に出会うため、周りの大人の深い関わりが必要。		「本」と「図書館」	との関わりづくりが必要。ブックトークが有効。	幅広い読書環境を整えておくこととともに図書館の有効な活用方法を学ぶことが必要。	
	個々の家族とのつながりづくり（保健センターとともに）		保育園・幼稚園での絵本体験の充実 家族の時間の中での本との関わりづくり		学校を通じた「本」と「図書館」との関わりづくり			

【推進機関】

図書館推進策	ファーストブック	セカンドブック	市図書館・学校間物流システム（ぐるぐる便）
	出張おはなし会 おはなしボランティアの育成・支援		

図書館関係団体	PTA親子文庫
---------	---------

図書館ボランティア	ファーストブック	セカンドブック
	きかんしゃポッポ	おはなしきかんしゃ

民間ボランティア	読み聞かせボランティア
----------	-------------

保育園・幼稚園・ 学校等	＜保育園・幼稚園＞	＜小学校＞	＜中学校＞	＜高等学校＞
	読み聞かせ 絵本の貸出	朝読書・読み聞かせ 読書イベント・本の貸出 読書会	朝読書・読み聞かせ 読書イベント・本の貸出 読書会	読書イベント・ 本の貸出 情報活用能力 の習得

その他連携機関

- ・こども課（すわっこプラン21）
- ・教育総務課
- ・市公民館・地区公民館
- ・保健センター
- ・諏訪市社会福祉協議会
- ・湯小路いきいき元気館 児童センター